

青郷小だより

令和4年 5月号
高浜町立青郷小学校



ほんの少しのやさしさで



満開で子ども達を迎えてくれた桜が、鮮やかな葉桜となり、その桜の上を多くのツバメが飛び交っています。

昨年度の改修工事で校舎の壁を塗り替えることになり、それまでツバメが一生懸命に外壁に作っていた巣がなくなってしまいました。はたしてツバメは帰ってくるのだろうかと心配していましたが、今年もまた、帰ってきてくれました。

元気に飛び交うツバメを眺めていると、NHK「ひろがれ！いろとりどり」のテーマソングになっている、YOASOBIの「ツバメ」という曲にまつわる話を思い出しました。

その曲は、未来を担う10代から「ともに生きる」というテーマで、自作の物語を募集し、その中から選ばれたグランプリ作品を原作にして、YOASOBIが曲をつくるという企画で出来上がった楽曲です。

グランプリに選ばれたのは、「小さなツバメの大きな夢」という題名の、15歳 乙月 なな さんがつくった物語でした。

<物語の主なあらすじ>

長い越冬の旅を経て、日本に戻ってきたツバメが、巣を壊した人間を憎んでいるツバメと出会う。

ある日、この2羽のツバメが、小学校に入学した我が子にランドセルを買ってやることができない、恵まれない親子に出会う。

1年生になったその子は、ツバメについての読み聞かせを児童館で聞き「ツバメは幸せを運んでくれる」と信じている。

それを知った2羽のツバメは人間を憎んでいたはずなのに、その親子を幸せにするために、サプライズを計画する。

心温まるツバメと人間の物語です。

ぜひ、みなさんにも、この物語を読んでほしいので、これ以上の詳しい紹介はしないでおきます。（10分程度で読める物語です。）

この物語のテーマは「みんなが、誰かのために、ほんの少しでもいいから手を差し伸べることができれば、みんなが幸せになる」「ほんの少しのやさしさが、いつかきっと世界を変える」というものです。

※ 「YOASOBIとつくる未来のうた」

<https://www.nhk.or.jp/irotoridori/song>

で検索すると、原作を読むことができます。

(裏面に続きます)

昨年末の紅白歌合戦で、YOASOBIの「ツバメ」を聴いたときには、それほど大きな感動はなかったのですが、この物語を読んでから改めて聴いてみると、「ツバメ」の歌詞が持つ意味の深さに感動し、歌が心にしみていきます。

改修工事で校舎が生まれ変わった青郷小学校の新しい1年がスタートしました。心配していたツバメ達も、元気に帰ってきてくれました。

ツバメが巣をつくる家には、幸せが訪れるという、縁起のよい言い伝えがたくさんあります。

本年度も、本校の子ども達が「やさしい心で、まわりに手を差し伸べ、みんなが明るく幸せになる」こと、そして「小さな子ども達に大きな夢を持たせることができるような青郷小学校になる」ことができるよう、職員一同で努力していきたいと思えます。



授業参観・緊急時引き渡し訓練を終えて

先月に実施しました授業参観におきましては、いくつもの感染対策にご協力をいただき、多数ご参観くださり、ありがとうございました。授業中の子ども達の姿や表情を見ると、保護者の皆様に見ていただくことが、大きな励みになっていくことがよく分かりました。

また、今回は感染対策ならびに天候急変時の緊急下校を想定した引き渡し訓練も実施しました。現在の引き渡し方法が有効かどうか、課題がどこにあるのかを確認するために、保護者の皆様にはご無理をお願いし、参観後に一旦帰宅をしてもらい、再度引き渡しのために来校していただきました。

訓練を終えて、引き渡し全体の流れ、各担当箇所の役割や連携など課題をいくつも確認することができました。今後は今回の訓練で明らかになった課題をもとに、より安全・確実に、そしてスムーズな引き渡しができるように改善していきたいと思えます。

なお、今後は感染対策以外の、急な大雨や雷発生時等にお迎えを依頼する場合にも、今回の引き渡し方法を取り入れたいと考えております。何卒、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



※ 子ども達の学校生活の様子をブログでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

< <http://seikyo.takahama-town.com/> >



<QRコード>